

聴覚刺激系列におけるリズムの一定性は知覚時間を延長させる：心理物理学的研究 (研究の成果発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金長, 幸希, 宮崎, 真 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027468

聴覚刺激系列におけるリズムの一定性は知覚時間を延長させる：心理物理学的研究

金長幸希(情報学専攻), 宮崎真 (学術院情報学領域)

我々が知覚する時間は時計のように一定ではなく、様々な要因によって変化する(例: 刺激の大きさ, 明るさ, 数の大きさ)。本研究は、聴覚刺激のリズムの一定性が知覚時間に与える影響を報告する。本実験の参加者は、先行して呈示された標準刺激系列(刺激数: 17)と比べて、後に呈示された比較刺激系列(刺激数: 11 - 23)が「長い」か「短い」かを判断した。刺激系列における刺激間時間間隔について、一定条件(39.375 ms)と変動条件(12 - 66 ms)を設定した。実験の結果、一定条件の方が変動条件よりも刺激系列の知覚時間が長くなった。判断バイアスによる影響を検証するために、追加実験として、2つの刺激系列の持続時間が「同じ」か「違う」かを判断する課題も実施したが同様の結果が得られた。従って、この現象は純粋な知覚処理に起因するものであると考えられる。